

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 2 0 日 更新

事務事業名		青年農業者クラブ活動事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	6	産業の健康				所属部	産業振興部	課長名	塚本 健洋	
	施 策	26	農業の振興				所属課	農政課	担当者名	中元 緑	
	施策の柱	70	後継者の育成				所属班	農政班	(内線)	5224	
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 10277	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農村青年同士が、仲間作りや、農業技術の習得、農業の改良等の実践を通し、社会に役立つ人間形成を目指すもの。平成18年度に農業関係機関へ呼びかけ、青年農業者の自発的設立に至る。市の農業活性化(仲間作り・生活環境・農業所得等)のための施策であり、異業種間の情報交換や仲間作り等が来ている。
【業務の流れ】	団体からの申請事務(申請書の確認、起案、決裁)
【主な予算費目】	報償費及び補助金
【意見や要望】	研修先を青年農業者が活発な活動を行うような所にと議会からの意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
学習活動、他地域の青年農業者との交流会への支援		学習活動、県外研修等の農業技術修得のための支援 事業申請受付から補助金確定までの一連事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 4Hクラブ員数	人	青年農業者クラブ補助金の減
⇒ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内の農業者クラブ会員	人	⇒ ア 農業技術の習得が出来たと答えた人数
		⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
会の活動や会員交流により農業技術の習得を支援する。	%	⇒ ア 農業技術の習得が出来たと答えた割合
		⇒ イ
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
クラブ活動を通じ、毎年農業者としての成長を期待するため。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	人	人	14	16	15	11	15	15	15	15
② 対象指標	人	人	14	16	15	11	15	15	15	15
③ 成果指標	%	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	95	5	85	80	75	75	75
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	95	5	85	80	75	75	75
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	158	358	59	0	0	0
人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	正 規 職 員 従 事 人 数	人	2	3	3	2	3	0	0
		延べ業務時間	時間	110	40	90	15	0	0	0
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	0	158	358	59	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	95	163	443	139	75	75	75

事務事業名	青年農業者クラブ活動事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 新規入会への推進活動を行ったが、加入に繋がらなかった。
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 若手農業者にクラブの活動内容を理解してもらい、勧誘を行う。また、活動自体を楽しみ、未加入の若手農業者の関心を抱くように考えている。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 青年農業者クラブ員を増やし、更に活動を活発にし、より農村活性化を進展させる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似の事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 活動費の助成であり、青年農業者の交流促進や研修のため必要である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 職員のかかわりは最小限度であり削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 青年農業者の研修等経費の一部助成であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 青年農業者の育成という面からその活動費の一部助成であり、行政の関わりは必要である。

3 評価結果の総括（CHECK）

次の世代の農業を担う青年農業者が知識や経験を取得するためには、新しい取組みを積極的に進める必要が有る。行政も積極的に後押しをすることが重要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												